

コンパス薬局 スキルアップ勉強会

2016.10. 佐藤

第 60 回 『トルリシティ皮下注アテオス』

大日本住友製薬 様

出席者：作佐部 近藤 佐藤 小西 生越 佐藤 梅津 伊藤 佐藤

トルリシティとは週 1 回(毎週同じ曜日)の投与で血糖コントロール可能な皮下注製剤である。週 1 回という利便性からコンプライアンス改善が望める血糖降下薬である。

【効能効果、用法用量】

- ・ II 型糖尿病
- ・ 通常成人には、デュラグルチド(遺伝子組み換え)として 0.75mg を週 1 回、皮下注する。

【作用機序】

GLP-1 は食事を取った際に小腸から分泌され血液を通りすい臓へ運ばれる。GLP-1 がすい臓に働くとインスリン分泌が増加し血糖値が下がる。GLP-1 の作用によってすい臓からインスリンが出されるのは血糖値が高いときだけである。トルリシティは GLP-1 と同じように血糖値が高いときだけインスリンを出すように働く血糖降下薬である。

【特徴】

- ・ 週 1 回(毎週同じ曜日)の投与、朝昼晚いつでも投与可
- ・ 1 回 1 本使いきり、簡単な操作

【副作用】

低血糖、吐気・下痢・便秘などの胃腸症状など。

【考察】

糖尿病治療患者において内服のみだと経口血糖降下治療薬服用患者の約4割がHbA1cが7.0%を超えている。経口血糖降下薬へトルリシティ・インスリングラルギンそれぞれ追加投与しHbA1cを比較したところトルリシティ追加投与群で約8週目からHbA1c7.0%を下回るようなHbA1c低下効果を示した。また週1回投与、簡単な操作という利便性から今後広く使用されていくのではないかと考えられる。

【質問】

Q:冷蔵庫に入れ忘れてしまったときは？

A:室温(1～30℃)で14日間まで保管可。

Q:使用済みの注射の捨て方は？

A:医療廃棄物として処分する。